

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
医療安全論	NSP44_006	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪	407	m.kobayashi	水曜日 16:00~17:00		
授業の目的・概要	安全な医療を提供するための組織としての取り組みや看護における安全対策についての知識と技術を習得する。医療機関における安全対策、院内感染予防対策、安全文化についての基礎的知識、医療安全に関する用語、ヒューマンエラーの種類と不安全行動の防止対策、さらには具体的なエラーの防止対策を理解する。また、医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 (双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業 (双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業 (自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	近年の看護師国家試験で設問が増えている医療・福祉の場での安全の問題を意識的に取り上げる。各自でも新聞やテレビ等の医療事故等の報道について意識的になることを望む。				
教科書	ナツグ・グラフィック 看護の統合と実践② 医療安全 第5版 /監:松下由美子 他 /メディア出版 /2023				
参考書	授業の中で提示する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護の法的規定と医療安全について説明できる。		NS(1)(2)		
②	事故発生メカニズムと事故予防、事故発生後の対応について説明できる。		NS(1)(2)(3)		
③	看護における医療事故と安全対策について説明できる。		NS(1)(2)		
④	医療安全施策と医療安全管理者の役割を理解できる。		NS(1)(2)(4)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護職の法的規定と医療安全について学ぶ。	講義	教科書 p24-34/38-46/p58 を読んで理解して授業に臨む。	2	
2	「安全とは何か」について事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ①。	講義	教科書 p82-97/p97-108/p109-123 を読んで理解して授業に臨む。	4	
3	事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ②。	講義・GW プレゼンテーション	同上	4	
4	医療事故への対応について学ぶ 医療安全管理体制および医療安全管理者の役割について学ぶ。	講義	教科書 p60-68/p75-77 を読んで理解して授業に臨む。	4	
5	看護業務に関連する事故と安全対策および、看護学生の実習と安全について学ぶ。	講義・GW プレゼンテーション	事前課題①実習中に安全と考えたことや場面、危険と考えたことや場面についてレポートする。	4	
6	安全文化とはなにか 医療事故防止の方法を学ぶ (KYT・5S)。	講義・GW プレゼンテーション	事後課題②：提示した事例について、各自で KYT を行う。	4	
7	医療事故被害者 (患者) 家族の思いに寄り添う。	講義 DVD 視聴 ディスカッション	教科書 p69-77 を読んで理解して授業に臨む。	4	
8	医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについて考える。	講義・GW プレゼンテーション	事後課題③：医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについてレポートする。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	40	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
		10	10	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	医療安全の基本的な知識について、60%評価する。				試験終了後に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを40%評価する。 (事前事後課題①②各10%、事後課題③20%)				授業内で共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	授業に臨む姿勢を10%評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	看護師として23年の臨床経験を有し、厚生労働省で第5次医療法改正による医療安全対策の法制化に関わった。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書を補強しながら学習する。						
その他	・試験時の教科書持ち込みは不可とする。 ・感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるので、その際は随時、連絡する。						